

# いわき民報

所行發 社報民きわい  
社報民きわい  
第一三三三番地 一町田市平  
已克類千 人 行發  
號五十一 月 年 一 一 一 一

つじと藤の季節になり  
ました。御散歩の折には  
是非見晴らしの良い春木  
亭へ。  
松ヶ岡公園  
春木亭  
◇花は折らずに眺めませう◇

## 郡の食糧危機突破運動

### 農・水産業會・學校總動員で その名も「救國食糧採取運動」

平市と炭礦地帯の大消費地帯をすことになった、この運動は「有する石城地方ではこのまゝ何救國食糧採取運動」と名付け等食糧に對する對策の手も打たずには傍かんとするならば今後ますます「食糧難に苦しむばかりであり憂慮すべき事態の到来も豫想される状態にある、この五月危機を一舉に突破しやうと石城地方事務所では危機突破の具體策を考究中だが今度大なる食糧獲得計畫を立案、各市町村當局は勿論、學校、農會、水産業會の協力を得て大運動に乗出

## 五工場も既に指定

これに依つて採取する食糧は乾燥して約四十萬貫の見込みでこれを製粉するため目下製粉事業中の大浦村製粉會社、石城工場、湯本町製粉會社、植田町製粉會社、泉村高瀬七郎工場、川部村製粉會社等五ヶ所を指定した、一方これが趣旨徹底を圖るため地方事務所では所員を動員各市町村側に出張して指導することになつてゐる

## 授産場を開放か

### 市民の衣類更生施設として

平市の授産場はミシン六十四臺動力ミシン六臺、穴かがり一臺電気アイロン六臺を動員して目下石城地方事務所關係の軍服仕立作業に従事してゐるがこれもあと二ヶ月程度で終了するので市民の中にはミシン施設を貰ひたいとの声も最近大きくなつて來たので市社會課ではこのコエに應へて目下研究中である

## 郡民總參加を切に望む

### 高田經濟課長談

右につき地方事務所高田課長は「供米も八十三%まで漕付けたが後は伸々思ふ様に出ないお

### 糸の入手と技術の問題

右について山野邊課長は語る食生活と共に今一番困つてゐるのは市民の衣類で、特に修理更生は市内でも相當高質めてゐる

## 平澤赤井村長退陣

### 青年の村政民主化運動に應じ

赤井村青年有志聯盟では全村民のこを村政に及映せしめて、明らかなるを確立、封建的舊習を脱いで村の民主化に邁進すべきであると、従来兎角「銅像的村長」と稱せられてゐた平澤村長に退陣を要求すると共に、社會的の排除、合理的な隠匿退職の救済、物資の正配給等々の運動に乗出したが、平澤村長も一日付で辭表を提出勇退した

## 後任村長は田久氏か

### 青年層絶對支持

赤井村では平澤村長の勇退により、急遽後任村長の選任をなすべく準備を進めてゐるが、現在のところ村長助役の昇格説、吉田萬吉村議、田久重夫氏等が噂に上つてゐる、然し青年達はこれの際公選すべしと唱へ相當強硬な態度を示してゐるので結局青年層に支持の多い田久現収入役が最有力視されてゐる

## 製鹽組合續々誕生

### 石城郡内

鹽工場はそれ／＼自主的に操業を開始してゐるがその後これ等を擁護する打つて一丸とする自給製を待つ小名濱港は各製氷工場ともアンモニアの入手も済んで製氷陣は全く整備、ただ問題はより平市を中心として湯本附近の留守宅を専問に狙つて腕時計、長

### 米機の落し物

川前村大字川前中地内山林にアメリカ飛行機の補助タンクが落ちてゐるのを同村藁谷友次郎さんが発見平署へ届出した

## DDT撒布

### 日進駐軍から

日進駐軍からDDTの撒布指導に來山、約二萬人分のDDTを湯本町内郷町の常磐炭礦へ撒布した村の小田並に古河炭礦へ撒布した

## 鯉漁に張切る濱

### 小名濱から十雙出漁か

眼に青葉の候ともなれば生の良な回収等に依つて他縣の鯉漁船が懸しくなる、今年の鯉漁を一隻でも多く吸収することだ業は小名濱を始め各濱とも着々準備中であるが何れも資材難で千葉を始め遠く三重縣等から遠征する回船群が大きな収獲をさめてをりこの回船が入港するかどうかは本縣の水揚高に相當懸念があり前記問題も速かに解決して食糧不足の折今夏はせめて生の良い鯉だけでもんだんに喰へさせたいとハマで鯉漁に積極的に乗出している

## 漂着爆弾で兒童が重傷

### 江名町大字永崎

江名町大字永崎字太平二八無職菅吉さん長男初等科六年生作山光一君(一)は海岸に漂着した爆弾をもつて遊んでゐたところ、この秋に當り石城地方事務所が郡内の兒童を動員し、カシメ、ワカメの海の幸、わらび、ぜんまいなど山の幸四十萬貫を集する計畫を發表した、業界はもとより、學校當局、父兄等郡民擧げてこれが達成に努力すべきことを誓ひたい

### 大敷網はサバの大漁

連日二四貫平均の水揚げ

## 琴の演奏會

### 十二日開催

平市大町鈴木佐喜男さん等十一人の兩日平市公會堂日本間に琴演奏會を開催する

## 聯合大會

### 十七日公會堂

縣理容組合では十七日から平市公會堂日本間に聯合大會をひら

### 言寸きわい

赤井村の青年有志が村政の民主化を實現せしむるには先づ村長退陣すべし、と現村長平澤内記氏の辭職を勸告、平澤村長も要望に應へてアツサリ退陣することになった、青年側の意圖する處は(戰爭指導に専念した現村長が、食糧危機の突破策と重要な問題を處理する指導者たる資格に欠けてゐる)といふのである、同様な問題は國內的傾向であつて、縣内各地に於ても散見し、今後一層増加することであらう、寸言子の直言を以てすれば、これ等戰爭中の指導者は責任を問はれる前に、自ら退陣して町村の民主化を積極的に援助すべきである

